

報道取材情報（沼津市）

令和2年5月18日（月）発表

名称等 友好都市岳陽市からマスク2万枚が届きました！

日時 令和2年5月19日（火）11:00～

場所 沼津市役所4階 特別応接室

担当 企画部 地域自治課

直通 055-934-4717 内線 2278

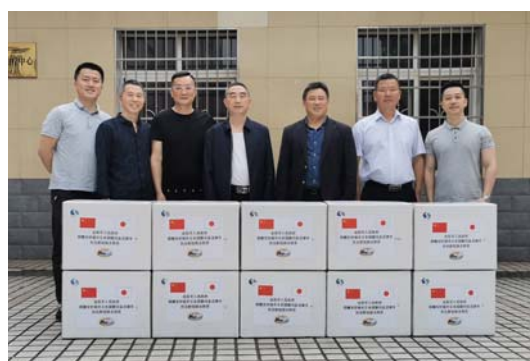
1 内容

本市の友好都市である中国岳陽市から、2万枚のサージカルマスクが寄付されました。5月19日（火）に沼津市役所にて市長が受領します。

2 参集者

沼津市長 頼重 秀一

沼津国際交流協会会長 田中 治之



岳陽市から発送された2万枚のマスクと岳陽市外事工作委員会弁公室の職員一同

3 経緯・経過

- ・今年1月に、中国における新型コロナウイルスの感染拡大により、岳陽市からマスクなどの物資支援の要請がありました。これを受け、沼津国際交流協会（会長 田中治之）が寄付金を募り、岳陽市へ支援物資や支援金を送付する活動を行いました。
- ・このたび、本市で感染者が確認されたことや、日本での感染者が増加している状況を心配し、岳陽市から、“感謝の意を示したい”とマスク送付の申し出があったものです。
- ・今回送付される2万枚のマスクは、岳陽市内の工場で生産されたもので、4月30日（木）に岳陽市から発送されました。岳陽市外事工作委員会弁公室の職員からは、“沼津市内の医療機関や福祉施設などで役立ててほしい、岳陽と沼津両市の友好が時代を超えて長く続きますように！”とのメッセージをいただいています。

4 その他

- ・1月30日から3月31日までの期間で行われた支援活動では、603,000円の寄付金が集まり、2月6日にマスク1万枚やつなぎ服100枚などの医療物資を送付した他、4月14日には、支援金として岳陽市へ国際送金しました。
- ・沼津市と岳陽市は、1985年に友好都市提携を結び、訪問団や研修生の相互派遣などをとおして友好交流を続けてきました。今年は友好都市提携35周年を迎え、岳陽市から公式訪問団を招き記念事業の実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、実施時期は未定となっています。